

令和 2 年度決算について（報告）

(1) 令和 2 年度決算

- ・保険料収納率の目標達成や被保険者数の減少幅が想定より縮小したこと等により約 10 億円の黒字となった。
- ・保険給付費は被保険者数の減少や新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えの影響等により前年に比べ 4.7%減少した。

＜歳入＞		＜歳出＞	
区分	決算額	区分	決算額
保険料	183.5	事務費	11.8
国庫支出金	2.2	保険給付費	537.1
県支出金	546.0	納付金	231.3
繰入金	61.5	保健事業	5.5
(うち法定外分)	(5.3)	その他	1.3
その他	10.1	基金積立金	6.3
合計	803.3	合計	793.3

(2) アクションプランの取組状況

- ・令和 2 年度は、保険料収納率については現年、全体で目標を達成することができた。
- ・保健事業については、新型コロナウイルス感染症の影響から受診率、実施率が減少した。

指標		R2目標	R2実績	
歳入確保	口座振替加入率(%)	58.8	58.1	
	電話催告延べ件数	81,000	43,356	
	差押金額(千円)	196,600	406,382	
	所得無申告世帯数	6,587	5,920	
	収納率(%)	現年分	92.8	92.8
		滞納繰越分	21.1	16.2
全体		79.2	80.0	
歳出抑制	ジェネリック医薬品割合(%)	80.0	80.9	
	第三者求償委託件数	260	159	
	特定健康診査受診率(%)	42.5	31.9	
	特定保健指導実施率(%)	19.5	17.1	

(3) 今後の取組み

千葉市の国民健康保険財政は、過去に大きな累積赤字が生じていたことから、累積赤字の解消と財政健全化を目的に平成 23 年度からアクションプランを策定し、歳入確保、歳出抑制に取り組んで来ました。

取り組みの成果もあり、平成 29 年度に累積赤字を解消し、30 年度以降は一般からの赤字繰入れも行っておらず、直近 3 年間は決算で黒字を確保しています。

アクションプランは今年度が最終年度となっていますが、このような現状から来年度以降は新たな策定はせず、他の既存の計画や制度との統合などを図って、引き続き歳入確保、歳出抑制に取り組んでいきます。

- ・保険料収納率…債権管理対策本部会議
- ・保健事業…データヘルス計画
- ・ジェネリック医薬品等の取組み…保険者努力支援制度の指標